

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 公益法人会計基準

「公益法人会計基準」を採用しております。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物については定額法、什器備品については定率法によっております。

(4) 引当金の計上基準

給与規定、退職規定、長期修繕計画に基づき計上しております。

(5) 消費税等の会計処理

税込み処理によっております。

2. 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりであります。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
修繕引当資産	10,847,000	0	0	10,847,000
減価償却引当	36,504,128	1,837,808		38,341,936
賞与引当資産	1,455,000	330,615		1,785,615
退職給付引当	5,134,500	428,350		5,562,850
音楽祭事業引当	11,000,000		3,000,000	8,000,000
合 計	64,940,628	2,596,773	3,000,000	64,537,401

4. 特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目		当期末残高	(うち指定財産からの 充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産					
修繕引当資産	定期預金	10,847,000		(10,847,000)	
減価償却引当	定期預金	38,341,936		(38,341,936)	
賞与引当資産	定期預金	1,785,615			(1,785,615)
退職給付引当	定期預金	5,562,850			(5,562,850)
音楽祭事業引当	定期預金	8,000,000		(8,000,000)	
合 計		64,537,401	0	(57,188,936)	(7,348,465)

5. 担保に供している資産

該当事項はありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	97,196,555	26,097,274	71,099,281
ワープロ	125,500	124,241	1,259
会議用テーブル椅子一式	554,300	554,295	5
壁面収納庫一式	431,200	426,884	4,316
応接セット	7,455,000	7,380,446	74,554
ピアノ	1,803,165	1,803,164	1
テーブル	261,450	258,834	2,616
カーテン他	1,239,000	1,238,999	1
会議室音響機器一式	457,800	457,799	1

7. 保証債務

該当事項はありません。

8. 指定正味財産から一般財産への振替額の円 (単位：円)

内容	金額
一般正味財産への振替額	
当期寄付財産による建物の償却額振替額	421,286

9. 関連当事者との取引の内容

該当事項はありません。

10. 重要な後発事象

該当事項はありません。